

『みんなもマーヤをつくろう』 5歳児 1月 伏見こども園

エピソード

『みつばちマーヤ』の絵本をもとに、みんなで話し合いながらお話遊びを進めています。話し合いで①「何が出てきてたかな」と聞くと、Aちゃんが二学期から『みつばちマーヤ』の絵本をよく読んでいて、登場する生き物の名前を全部みんなに知らせたり、場面の説明をしたりする姿がありました。

Aちゃん「明日マーヤ持ってくるね」①「マーヤってどんなマーヤ？」Aちゃん「お楽しみ」と話し、翌日の降園前に「見せたいものがある」と、みんなに見せることになりました。Aちゃん「折り紙でマーヤをつくりました」と、家で作ってきたマーヤを見せると「すごい」「かわいい」「マーヤのお城に貼ったらいいやん」「そうしよう」と感じたことや考えたことをそれぞれに話していました。

お話づくりの話し合いの中で①「Aちゃんがマーヤをつくって来てくれて、みんなもお城に貼ったらいいねって言ってたけどどうかな」とたずねると「マーヤをつくりたい」「お城にマーヤがいたらマーヤのお城ってわかると思う」「花と一緒に貼ったら楽しそう」と、一人一人マーヤをつくって飾ることに決まりました。製作中は「体はシマシマやな」「お尻の針もいるかな」と、マーヤを思い浮かべながらつくっていました。

子どもの育ちや学び

折り紙でマーヤをつくりました

こんなマーヤがいたらいいな
という思いで作り、みんなに
知らせる

お尻に針があるよ



マーヤのお城
につけたら？

かわいい！

お話遊びでつくったお城を思い出し、アイデアを出す

見て感じたことを素直に表現する



シマシマが
できた

自分の思いや考えたことを
友達にわかるように伝える

友達の考えから、新たな
考えや良い方法を見
つける

マーヤ(みつばち)の姿を
思い浮かべ、切ったり貼
ったりして表現する

保育者の思い

・Aちゃんが『みつばちマーヤ』の絵本をよく読んでいたので、お話をつくっていく話し合いで、クラスみんながアイデアや思いを出し合うきっかけになってくれたらいいな、と思い、Aちゃんの発言を取り上げました。

・みんなで考えを出し合い話し合う時間だけでなく、Aちゃんのように自分で考えてきたことを友達に伝える機会をもつことで、一人一人の考えや表現も大切にしたいと思いました。

・Aちゃんのつくってきたマーヤを見た周りの子のつぶやきを取り入れることで、一つのきっかけからイメージが広がり、みんなでお話をつくっていく楽しさを感じるにつなげてほしいです。

家庭だったら

・一人一人の表現やアイデアを取り入れながら、お話遊びを進めているので、日々変わっていくところもあると思います。「今日はどうなった？」と、一緒にお話ができていく過程を楽しんでもらえたらと思います。